

朝鮮学校 市補助金使い総連研修へ 教員参加 一般質問で市議指摘

川崎市が2008年度に市内の朝鮮学校2校に支給した補助金の一部が、在日本朝鮮人総連合会（朝鮮総連）主催の研修への参加に使われていたことが、21日の市議会一般質問で取り上げられた。

市は08年度に計34万7千円の研修補助金を支出。うち10万円が08年8月に平壤であった朝鮮総連主催の「教員祖国研修」の参加費に使われたという。

三宅隆介氏（民主）が「教育基本法は別組織が特定の主義や政治的主張を教育に持ち込む『不当な支配』を禁じている。教員が総連主催の研修に参加したことから、（支出は）『不当な支配』への補助金だったのではないか」と質問。市側は「朝鮮学校は県が所轄庁となって認可し、法令に基づいて監督されているので、不当な支配にはあたらない」と答える一方、「今後は国際情勢や国民感情を踏まえて、慎重な対応を図る」との考えを示した。